

## 1. C-3 ラベル

### 1. 1 C-3 ラベルの適用範囲および目的

C-3 ラベルは、最小包装単位の様々な包装形態（付録3） 表 包装形態と適用ラベル）に、バーコードまたは2次元シンボルを対応するものとした。

また、当該ラベルを 180mm 真空成形リール（自動実装用部品のテーピングに用いるリユースリール（EIAJ ET-7200B））に貼付する場合、ラベル貼付位置の制約とラベル剥がれ防止の観点から、以下の3点を勘案し、ラベル寸法は、横 90mm～100mm、縦 42～45mm とする事を推奨する。

- 1) バーコード3段（3N1、3N2、1P）を含む所定のデータ項目を表示できるサイズであること。
- 2) ラベルが容易に剥がれる状態にならないこと。
- 3) リールのラベル貼付位置の窪み内に適正に貼ることができる寸法とすること。

C-3 ラベルは、受発注者間の特別な取決めがなくても受注者側でラベル出力できることを目的に制定する。2次元シンボルの表示規格については、「付録2）4.（1）2次元シンボル表示規格」を参照。

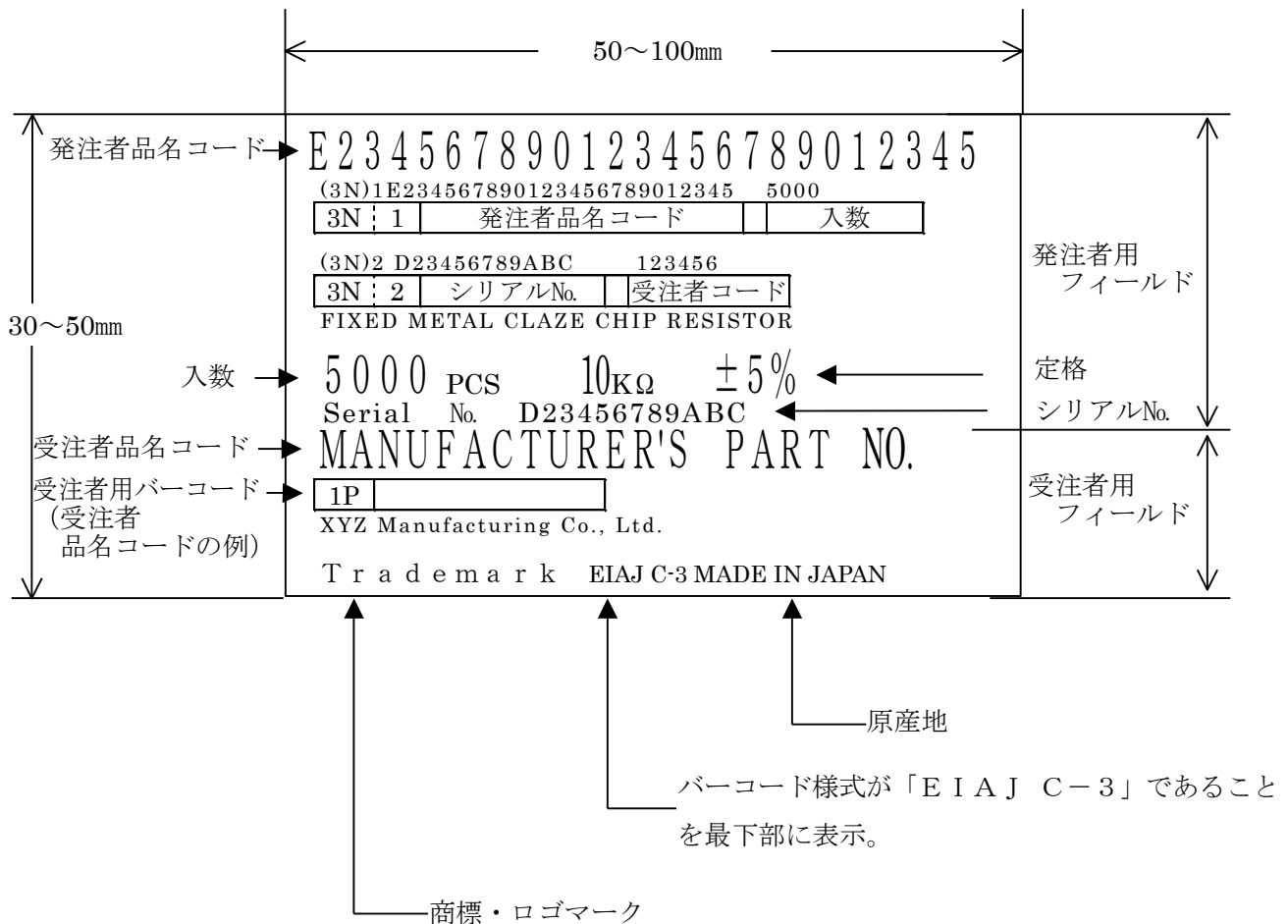
### 1. 2 C-3 ラベルのレイアウト

C-3 ラベルの寸法と表示例を以下に示す。

様式	C-3
横	50～100mm
縦	30～50mm

- ・ラベル寸法は、各社の貼付対象物が一定でないため統一できない。
- ・バーコード様式が「E I A J C-3」であることをラベルの最下部に表示する。

図 C-3 ラベルのバーコード表示例



## 1. 3 C-3 ラベルのバーコード仕様

### (1) バーコードを使った記載項目

表 バーコードを使った記載項目

欄 名		選択区分	記載表示	備考 (用語定義)	
記載項目	発注者用フィールド	発注者品名コード (PART No.)	指定	B、HR I、C	発注者によって付与される25桁以内の文字
		入数 (QUANTITY)	指定	B、HR I、C	1包装当たり(ラベルごと)の入数。バーコードおよびそのHR I (可読表示) の桁数は、7桁以内の可変長とする。
		シリアルNo. (SERIAL No.)	指定	B、HR I、C	受注者によって割当てられる12桁以内の英数字、発注者側でラベル貼付対象ごとの識別のため使用する。結果的に品名コードと組合せて、最低1年間ユニークとなるよう設定された番号。
		受注者コード (VENDOR CODE)	指定	B、HR I	統一企業コードの6桁。
	受注者用フィールド	任意	B、C	受注者品番、受注者名、原産地、商標マーク等。	

#### 注1) 記載表示

B : バーコード表示

C : 文字表示

HR I : 可読表示 (該当バーコードの上部に表記)

#### 注2) 選択区分について

指定 - 該当項目の項目定義および規格の規定する事項を必ず記入する。

任意 - 受注者が必要事項を記入する。

注3) 受注者品名コードのバーコード表示が必要な場合は、識別子“1P”を用い受注者用フィールド内に表示してもよい。

### (2) バーコードを使った表示パターン

バーコードを使った表示は、各データ項目を可変長とし、スペース記号で項目間を区切る方式をとっている。また、バーコードデータ項目とその順序、識別子、スペース記号の位置をルール化しているため、発注者側でバーコードの読取りプログラムを共通化できる。バーコード表示のパターン例を以下に示す。

図 C-3 ラベルのバーコードを使った表示パターン

パターン1 (1段表示 全項目)

	識別子 +段数区分	項目1		項目2		項目3		項目4	
a	* 3 N 1	発注者品名コード	S P	入数	S P	シリアルNo.	S P	受注者 コード	*

パターン2 (1段表示 一部項目削除)

b	* 3 N 1	発注者品名コード	S P	入数	S P	シリアルNo.	S P	*
---	---------	----------	-----	----	-----	---------	-----	---

c	* 3 N 1	発注者品名コード	S P	入数	S P	S P	*
---	---------	----------	-----	----	-----	-----	---

※ 一部データ項目を削除する場合も、データ項目間のスペース記号は残す。  
(スペース記号の数は必ず3個となる。)

他

パターン3 (2段表示 全項目)

d	* 3 N 1	発注者品名コード						*
	* 3 N 2	S P	入数	S P	シリアルNo.	S P	受注者 コード	*

※ バーコードを2段にする場合、1段目から2段目への移動はデータ項目単位とする。

e	* 3 N 1	発注者品名コード					S P	入数	*
	* 3 N 2	S P	シリアルNo.	S P	受注者 コード	*			

他

パターン4 (2段表示 一部項目削除)

f	* 3 N 1	発注者品名コード						*
	* 3 N 2	S P	入数	S P	シリアルNo.	S P	*	

g	* 3 N 1	発注者品名コード						*
	* 3 N 2	S P	入数	S P	S P	受注者コード	*	

他

(図中の各項目記号と意味)

項目1. 発注者品名コード: 可変長 コード39で表現できる文字 25桁以内

項目2. 入数 : 可変長 数字 7桁以内 前ゼロ可

項目3. シリアルNo. : 可変長 英数字 12桁以内

項目4. 受注者コード : 統一企業コード6桁 英数字

\* : スタート/ストップ記号

3 N 1、3 N 2 識別子+E I A J段数区分:

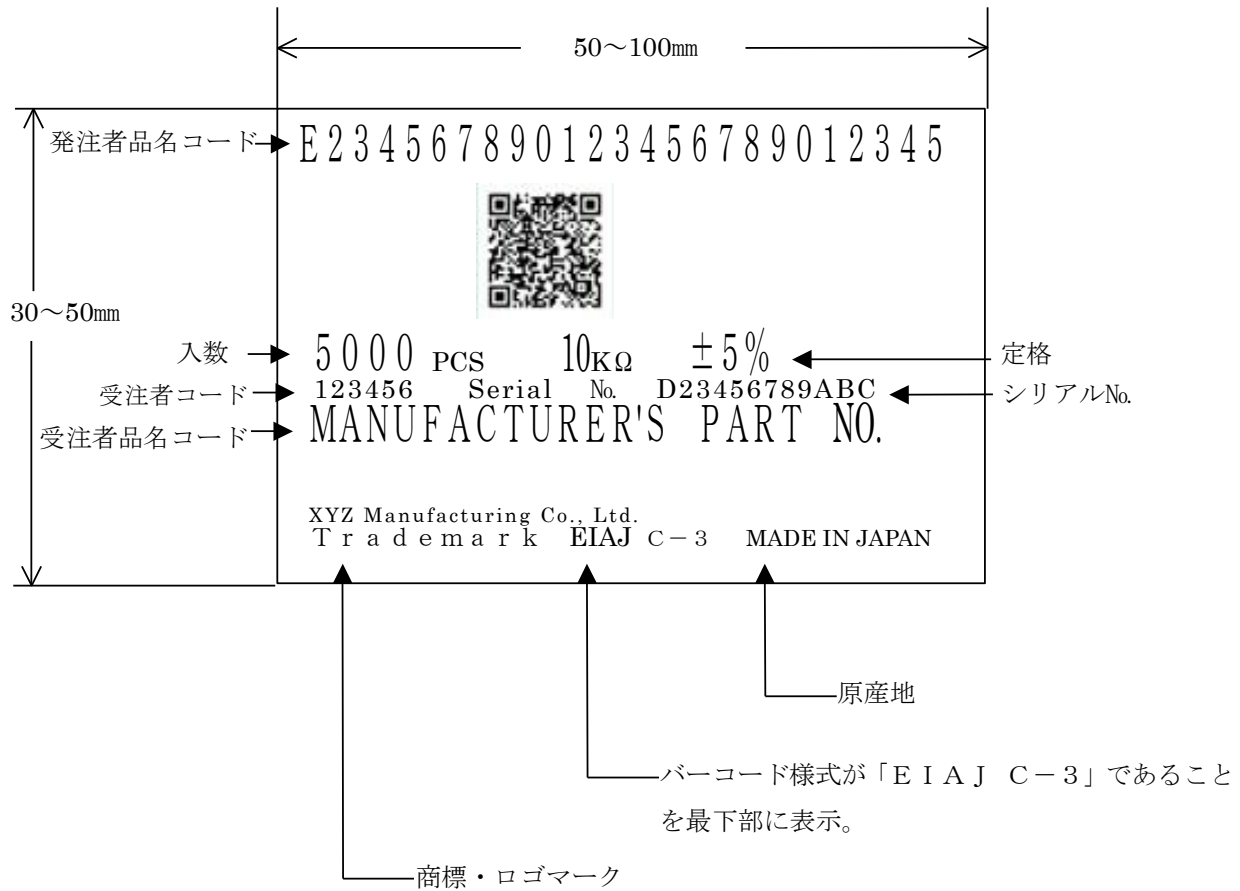
1段目は“3 N 1”、2段目は“3 N 2”を使う

S P スペース記号 : データ項目間の区切りを示す。

バーコード2段の場合は、スペース記号が識別子“3 N 2”の次にくること。

## 1. 4 C-3 ラベルの2次元シンボルレイアウト

図 C-3 ラベルの2次元シンボルを使った表示例



## 1. 5 C-3 ラベルの2次元シンボル仕様

### (1) 2次元シンボルを使った記載文字項目

表 2次元シンボルを使った記載項目

欄 名	選択区分	備考 (用語定義)
受注者コード	指定	統一企業コードの6桁
発注者品名コード	指定	発注者によって付与される25桁以内の文字
入数	指定	1包装当たり(ラベルごと)の入数。バーコードおよびそのH R I (可読表示)の桁数は、7桁以内の可変長とする。
発注者用バーコード情報	選択	
受注者用バーコード情報	任意	
受注者品名コード	任意	
シリアルNo.	指定	受注者によって割当てられる12桁以内の英数字、発注者側でラベル貼付対象ごとの識別のため使用する。結果的に品名コードと組合せて、最低1年間ユニークとなるよう設定された番号。
ロット	任意	
原産地コード	選択	
受注者名、原産地、商標マーク等	任意	文字表示

#### 注1) 選択区分について

指定—該当項目の項目定義および規格の規定する事項を必ず記入する。

選択—発注者と受注者にてT P Aにより取決める。

任意—受注者が必要事項を記入する。

### (2) 2次元シンボル標準様式

表 2次元シンボル標準様式

項目名	項目No.	選択区分	データ識別子	最大桁数	発注者からのデータ項目	受注者による付加項目
受注者コード	00005	指定	21V	X(20)	○	
発注者品名コード	00024	指定	P	X(25)	○	
入数	—	指定	Q	9(9)V(3)		○
発注者用バーコード情報	00161	選択	Z	X(23)	○	
受注者用バーコード情報	00163	任意	1Z	X(23)		○
受注者品名コード	00023	任意	1P	X(25)		○
シリアルNo.	—	指定	S	X(12)		○
ロット	—	任意	1 T	X(25)		○
原産地コード	00178	選択	4L	X(3)		○

#### 注1) 選択区分について

指定—該当項目の項目定義および規格の規定する事項を必ず記入する。

選択—発注者と受注者にてT P Aにより取決める。

任意—受注者が必要事項を記入する。

注2) 2次元シンボル表示は、「付録2) 4. (1) 2次元シンボル表示規格」を参照すること。

注3) 2次元シンボルはQRコードを推奨する。ただし、受発注者間の任意情報を2次元シンボル化する

る場合は、受発注者間で取決めを行うこと。

注4) 原産地コードとして利用する国コードは、JIS X 0304-1999 の3文字コードを使用することとする。

(3) C-3 ラベルの2次元シンボル表示パターン

下記に、C-3 ラベルの2次元シンボル作成例を示す。

		制御文字	DI	データ名称	データ例
メッセージヘッダ		[ ] <RS>			
ヘッダ エンベ ット	フォーマットヘッダ	06 <GS>			
	フォーマットトレーラ	<RS>	21V	受注者コード	12345678901234567890
メッセージエンベ ット	フォーマットヘッダ	06 <GS>			
	フォーマットエンベ ット 詳細		P	発注者品名コード	1234567890123456789012345
			Q	入数	100000
			Z	発注者用バーコード情報	12345678901234567890123
			1 Z	受注者用バーコード情報	12345678901234567890123
			1P	受注者品名コード	1234567890123456789012345
			S	シリアルNo.	123456789012
	1T	ロット	1234567890123456789012345		
	4L	原産地コード	JPN		
	フォーマットトレーラ	<RS>			
メッセージトレーラ		<EOT>			

注) 受注者コードとしてC I I 標準企業コードを使用する場合、C I I 標準企業コードの前に発番機関コード「LA」をセットする。

(LA : J I P D E C / C I I の発番機関コード (ISO/IEC 15459-2参照) )

## 付録1) バーコード仕様

### 1. バーコードの規格

各帳票へ印字するバーコードは、コード39を使用し、以下のバーコード規格に基づいて出力を行う。

表 バーコードの規格

使用バーコード	コード39	最 小	最 大
バー寸法 (公称)	細：太エレメント幅比	1 : 2	1 : 3
	細エレメント幅	0.125mm	0.25mm
	太エレメント幅	0.250mm	0.75mm
	キャラクタ間ギャップ	0.125mm	0.25mm
コード密度	キャラクタ数/インチ	15.875	6.383
バーコード高さ	5mm以上		
段間ギャップ	5mm以上 (バーコード2段以上の表示の場合)		
空白部	バーコード前後の最小値	3.81mm	
チェックデジット	なし		
スタート/ストップ	バーコードの前後にはキャラクタ“*”のコードが表示されるが、文字では表さない。		
印刷品質	JIS X0520「バーコードシンボル印刷品質の評価仕様－1次元シンボル」を参照。		

(解説) 上記バー寸法を組み合わせることで、様々な密度のバーコードを表示することができるが、発注者と受注者でTPAによる取決めが必要。  
以下にその事例を示す。

表 C-3ラベルのバーコード密度

対応プリンタ密度	ドット/mm	8	8	12	16
バー寸法 (公称)	細：太エレメント幅比	1 : 2	1 : 2.5	1 : 2.5	1 : 2.5
	細エレメント幅	0.125mm	0.250mm	0.167mm	0.125mm
	太エレメント幅	0.250mm	0.625mm	0.417mm	0.313mm
	キャラクタ間ギャップ	0.125mm	0.250mm	0.167mm	0.125mm
コード密度	キャラクタ数/インチ	15.875	7.007	10.496	15.014
必要最小紙幅 (mm)	※ 下記参照				

(注) C-3ラベルはバーコードデータが可変長のため、必要紙幅が一定でない。以下の算式により求めることができる。

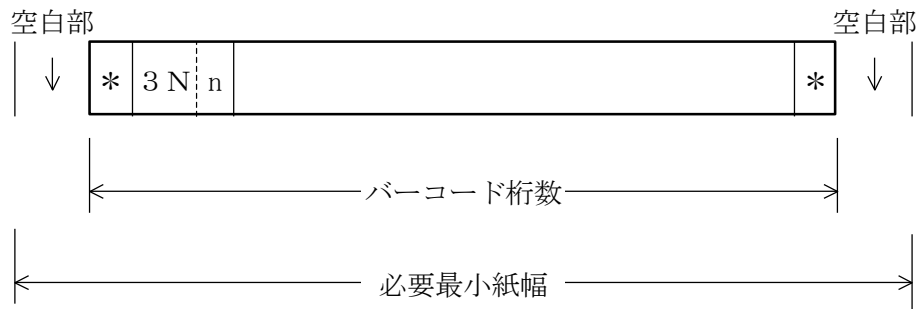
$$\text{必要最小紙幅 (mm)} = \text{NB} \times \{ (6 + 3R) \times \text{桁数} + (\text{桁数} - 1) \} + 3.81 \times 2$$

NB : 細エレメント幅 (mm)

R : 細：太エレメント幅比 (1 : 3なら3)

桁数 : スタート/ストップを含むバーコードデータの桁数

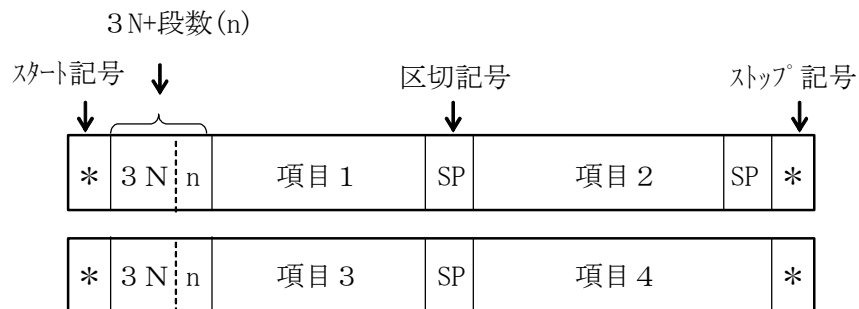




## 2. データフォーマット

コード39にて作成するバーコードは、開始と終了を表すスタート/ストップ記号の“\*”（アスタリスク）の内側にデータを入れ作成する。

データは、JIS X 0531 (ISO/IEC 15418) 「EAN/UCCアプリケーション識別子とFACTデータ識別子、及びその管理」に基づく、データ識別子(DI: Data Identifiers)の“3N”と帳票ごとに定められた段数を付加し、各項目をスペース記号で区切り、コード化する。



## 3. バーコード表示規格

### (1) バーコード共通表示規格

表 バーコード表示規格 (識別子・段数区分)

項	帳票名	識別子、段数区分：バーコード部
1	C-3ラベル	1段表示 3N1：発注者品名コード 入数、シリアルNo、 受注者コード
		2段表示で全項目表示のケース 3N1：発注者品名コード 3N2：入数、シリアルNo、 受注者コード

- 1) バーコード表示の各項目は、可変長として扱う。このため項目間に区切りとしてスペース記号を入れる。
- 2) それぞれのバーコードには、スタート/ストップ記号に続けて、識別子“3N”と決められたEIAJ段数区分を付け、最後にストップ記号付ける。

(2) C-3 ラベル バーコード1段表示パターンのバーコード表示規格

表C-3 ラベルのバーコード表示規格 (1段表示)

先頭から順に	コード桁数	可読表示
スタート/ストップ記号	1	表示しない
識別記号“3N”	2	(3N)と表示
E I A J 段数区分“1”	1	1
発注者品名コード	MAX 25	MAX 25
スペース記号	1	1
入数	MAX 7	MAX 7
スペース記号	1	1
シリアルNo.	MAX 12	MAX 12
スペース記号	1	1
受注者コード	6	6
スタート/ストップ記号	1	表示しない
合計	MAX 58	MAX 58

(3) C-3 ラベル バーコード2段表示のバーコード表示規格

表 C-3 ラベルのバーコード表示規格 (2段表示)

1 段目バーコード			2 段目バーコード		
先頭から順に	コード桁数	可読表示	先頭から順に	コード桁数	可読表示
スタート/ストップ記号	1	表示しない	スタート/ストップ記号	1	表示しない
識別記号“3N”	2	(3N)と表示	識別記号“3N”	2	(3N)と表示
E I A J 段数区分“1”	1	1	E I A J 段数区分“2”	1	1
発注者品名コード	MAX 25	MAX 25	スペース記号	1	1
スペース記号	1	1	シリアルNo.	MAX 12	MAX 12
入数	MAX 7	MAX 7	スペース記号	1	1
スタート/ストップ記号	1	表示しない	受注者コード	6	6
			スタート/ストップ記号	1	表示しない
合計	MAX 38	MAX 38	合計	MAX 25	MAX 25

## 付録2) 2次元シンボル仕様

従来、JEITAでは帳票・ラベルに表示される情報を機械的にコンピュータに入力する手段として主にバーコード(コード39)を使用してきた。昨今、情報量および情報種の拡大ならびに、製品包装の小形化および省資源化により、ラベルサイズへの制約条件が厳しくなっている。

近年、ワンタッチですばやく正確にかつより大量の情報を読み取れる2次元シンボルが登場し、国際標準としても認められ広く普及してきた。この2次元シンボルは、省スペース性に優れ、大情報容量にも対応できることから、JEITA標準として、新たに2次元シンボルを採用することとした。

### 1. 2次元シンボルの選択

2次元シンボルの選択については、技術仕様が確立され国際標準として認められたシンボルが利便性の面からも有用である。

ISO/IECにおいて標準化された主な2次元シンボルとしては、\*QRコード、PDF417、DataMatrixなどが挙げられる。JEITA標準では、特性事項、最大データ量および読取り速度、対応プリンタの普及度、漢字表現の効率に優れ日本国内での普及が進んでいる等の観点から、「QRコード」の利用を推奨する。

\*QR Code Model II (JIS X 0510, ISO/IEC 18004)

PDF417 (JIS X 0508, ISO/IEC 15438)

DataMatrix ECC200 (ISO/IEC 16022)

なお、2次元シンボルを採用する場合は、その種類等について発注者と受注者の間のTPAで取決めることとする。

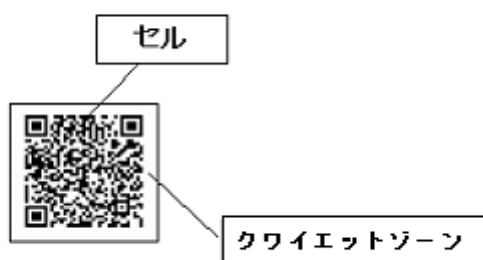
### 2. 2次元シンボルの仕様

- ・種類(モデル) : QRコードには初期(オリジナル)仕様のモデル1と位置補正機能を高めるとともに、大容量データに対応した機能拡張仕様のモデル2の2種がある。この標準書ではモデル2を推奨する。
- ・誤り訂正レベル : QRコードでは、L(7%)、M(15%)、Q(25%)、H(30%)の4種類があり、誤り訂正レベルが高い程シンボルの破損に対する復元率は高くなる。ただし、誤り訂正レベルを高くした設定した場合には、同じデータを表示するシンボルのサイズは大きくなる。本標準ではレベルMを推奨する。
- ・セルの大きさ : 一つのセルを何ドットで印字するかによって、その大きさが決まる。ドット数が多ければ、セルを正確に印字でき、かつ読取り精度も向上するがシンボルが大きくなってしまう。  
セルとドット数の関係はプリンタの種類やメーカー機種によっても異なる。この標準では、
  - ・ページプリンタ(600DPI)の場合 6ドット以上(0.25mm/セル以上)
  - ・サーマルプリンタ(300DPI)の場合 4ドット以上(0.34mm/セル以上)
 を推奨する。

- ・セルの大きさとプリンタ印字密度の関係

	ヘッド密度					
ページプリンタ	600dpi	ドット構成	6ドット	7ドット	8ドット	9ドット
	24dot/mm	セルサイズ	0.25mm	0.29mm	0.33mm	0.38mm
サーマルプリンタ	300dpi	ドット構成	4ドット	5ドット	6ドット	7ドット
	12dot/mm	セルサイズ	0.34mm	0.42mm	0.50mm	0.58mm

- ・クワイエットゾーン: スキャナやカメラによる画像認識のために必要なシンボル周辺の余白部分を確保する。



- ・スキャナ : スキャナの選定に当たっては、最小分解能および読取りエリアを確認の上で行うことが必要である。  
 エリアセンサを使用した2次元シンボルスキャナでは、一般にこの標準書で規定する(比較的幅の広い)バーコードを読取りできない可能性がある。1台のスキャナでバーコードと2次元シンボルを併用して読取る必要が有る場合には、十分な事前検証を行った上で選定すること。また、シンボルの読取り精度・読取り時間は、印字品質によっても変化するため十分な事前検証を行ってから決定すること。

### 3. 2次元シンボルのデータフォーマット

2次元シンボルのデータフォーマットについては、JIS X 0533 (ISO/IEC 15434) 「大容量自動認識情報媒体のための転送構文」において、以下の規定がある。

フォーマット「04」 : UN/EDIFACT セグメントを用いた構造化データ

フォーマット「06」 : データ識別子を用いたデータ

フォーマット「08」 : C I I シンタクスルールを用いた構造化データ

従来より、E C A L G A標準では、

JIS C 0807 (IEC 62090) 「バーコード及び二次元シンボルを使用した電子部品用容器包装ラベル」、

JIS X 0531 (ISO/IEC 15418) 「E A N / U C C アプリケーション識別子と F A C T データ識別子、及びその管理」に基づき、C - 3 ラベルを設計している。また、C - 3 ラベル以外の帳票についても、バーコードにデータ識別子 (D I : Data Identifiers) を採用し、“3 N”を使用している。

このことから、2次元シンボルにおいても、JIS X 0533 (ISO/IEC 15434) のフォーマット識別番号「06」を使用し、データ識別子 (D I : Data Identifiers) を付加し、コード化する。

## (1) データフォーマット

メッセージの開始と終了を表すメッセージエンベロープ (Message Envelope) の内側に、データを含んだフォーマットエンベロープ (Format Envelope) を一つもしくは複数入れる。

### 1) メッセージエンベロープの構成

メッセージの開始と終了を定義するもので、メッセージがISO/IEC 15434に規定されたルールに従いメッセージがフォーマットされていることを示す。

- メッセージヘッダ (Message Header)  
メッセージの開始を示し、ASCII 4文字 [ ] > 「R<sub>S</sub>」を使用する。  
「R<sub>S</sub>」はASCII レコード分離文字
- メッセージトレーラ (Message Trailer)  
メッセージの終了を示し、ASCII 伝送終了文字 「E<sub>OT</sub>」を使用する。

### 2) フォーマットエンベロープの構成

所定フォーマット内のデータの開始と終了を定義し、エンベロープ内で使用するデータフォーマットを識別する。

- フォーマットヘッダ (Format Header)  
フォーマット番号「06」を選択することで、データ識別子を使用したフォーマットであることを示し、フォーマットヘッダは06 「G<sub>S</sub>」とする。（「G<sub>S</sub>」はASCII 要素分離文字）
- フォーマットデータ (Format Data)  
フォーマットデータは、各データ要素の前に規定されたデータ識別子 (D I) を付与すると共に、各データ要素の後にASCII 要素分離文字 「G<sub>S</sub>」を付与する。（データ識別子は [ 1 1 . 3 . 4 ( 1 ) 2次元シンボル表示規格] を参照。）  
ただし、データ要素がデータフォーマットの最後のフィールドである場合、ASCII 要素分離文字 「G<sub>S</sub>」は付与しない。
- フォーマットトレーラ (Format Trailer)  
フォーマットトレーラはASCII コード分離文字 「R<sub>S</sub>」を用いる。

#### \* 制御文字説明

ASCII CHARACTER	DECIMAL	HEX	Description
[	91	5B	Message Start Indicator ASCII メッセージ開始識別子
)	41	29	
>	62	3E	
R <sub>S</sub>	30	1E	Format Trailer Character (Non-printable character) ASCII レコード分離文字
G <sub>S</sub>	29	1D	Data Element Separator (Non-printable character) ASCII 要素分離文字
E <sub>OT</sub>	04	04	Message Trailer Character (Non-printable character) ASCII 伝送終了文字

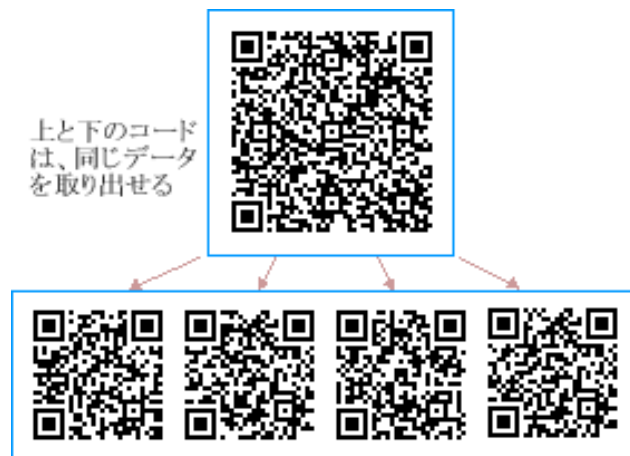
メッセージヘッダ		[ ]><RS>
フォーマットエンベロープ	フォーマットヘッダ	06 <GS>
	フォーマットデータ 1	DI1+項目 1 <GS>
	フォーマットデータ 2	DI2+項目 2
フォーマットトレーラ		<RS>
メッセージエンベロープ	フォーマットヘッダ	06 <GS>
	フォーマットデータ 3	DI+項目 3 <GS>
	フォーマットデータ 4	DI+項目 4 <GS>
	フォーマットデータ 5	DI+項目 5 <GS>
	フォーマットデータ 6	DI+項目 6 <GS>
	フォーマットデータ 7	DI+項目 7 <GS>
	フォーマットデータ 8	DI+項目 8 <GS>
	フォーマットデータ 9	DI+項目 9
	フォーマットトレーラ	
メッセージトレーラ		<EOT>

[ ]><RS>06<GS>DI1項目1<GS>DI2項目2<RS>06<GS>DI3項目3<GS>・・・<GS>DI9項目9<RS><EOT>

### 3) 構造的接続（連結モード）に関して（JIS X 0510参照）

QRコードでは、最大16個までのシンボルを構造的接続の形で連結することができる。

図 構造的接続 QRコードシンボルの例



構造的接続は、表示スペースが長方形にしか取れない場合等、一つのシンボルでの表示が難しい場合に有用である。ただし、構造的接続を使用する場合、シンボルの表示に必要なスペースは増加する点、スキャナが構造的接続に対応していることが必要である点等に注意が必要である。構造的接続を使用する場合は、受注者と発注者の間のTPAで取決めを行うこととする。

## 4. 2次元シンボル表示規格

### (1) 2次元シンボル表示規格

JEITAで使用する2次元シンボルの識別子は、以下の表のとおりとする。(JIS X 0531参照)

表 2次元シンボル表示規格 (識別子)

	項目名	項目No.	データ 識別子	最大 桁数	C-3 ラベル
ヘッダ	受注者コード	00005	21V	X(20)	●
	伝票番号	00053	10K	X(10)	—
明細	納品キー番号	00159	5K	X(23)	—
	納入数量	00036	4Q	9(9)V(3)	—
	発注者品名コード	00024	P	X(25)	●
	入数		Q	9(9)V(3)	●
	発注者用バーコード情報	00161	Z	X(23)	○
	受注者用バーコード情報	00163	1Z	X(23)	△
	注文番号	00007	K	X(23)	—
	受注者品名コード	00023	1P	X(25)	△
	シリアルNo.		S	X(12)	●
	ロット		1T	X(25)	△
	原産地コード	00178	4L	X(3)	○

☆はキー項目、●は必須項目、○の項目の使用については、発注者・受注者間でTPAにて取決める。  
△は受注者による任意使用項目、—は帳票で使用しない項目。

注1) データ内容が空白の場合は、その識別子も省略する。

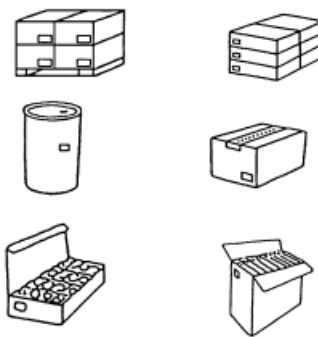
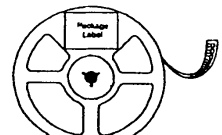
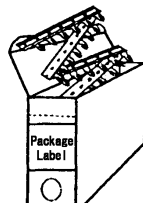

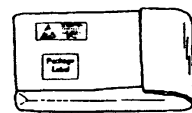

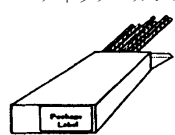
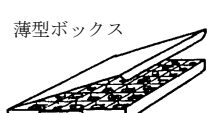
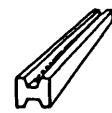
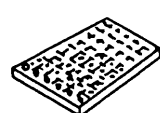

注2) 受注者コードとしてCII標準企業コードを使用する場合、CII標準企業コードの前に発番機  
関コード「LA」をセットする。

(LA: JIPDEC/CIIの発番機関コード (ISO/IEC 15459-2参照))

## 付録3) 包装形態と適用ラベル

### (1) 包装形態と適用ラベル

表 包装形態と適用ラベル

ラベル 梱包別	包装形態例示	適用ラベル
外 装		<p>左記梱包形態で、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常取引</li> <li>① 1 注文番号、1 包装、1 種類の製品</li> <li>② 1 注文番号、複数包装、1 種類の製品</li> </ul> <p>の場合、原則的に、Dラベルを使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JEITA-VMI</li> <li>① 1 入庫予定番号、1 包装、1 種類の製品</li> <li>② 1 入庫予定番号、複数包装、1 種類の製品</li> </ul> <p>の場合、原則的に、ECALGA Jラベルを使用する。*注</p>
個 装	<p>リール</p>  <p>アンモボックス</p>  <p>バルクケース</p>  <p>バッグ</p>  <p>マトリックストレイ</p>  <p>スティックマガジン</p>  <p>薄型ボックス</p> 	<p>原則的には<b>C-3ラベル</b></p> <p>(注) バッグの中はリール、スティック等</p>
	<p>スティックマガジン</p>  <p>マトリックストレイ</p>  <p>ビニール袋</p> 	<p>単体は適用対象外 (個別対応となる)</p>

備考 外装：直接輸送に耐えられる包装状態にしたもの。

個装：単一製品、部品を最小梱包単位にまとめたもの。1個からロット単位等までがある。

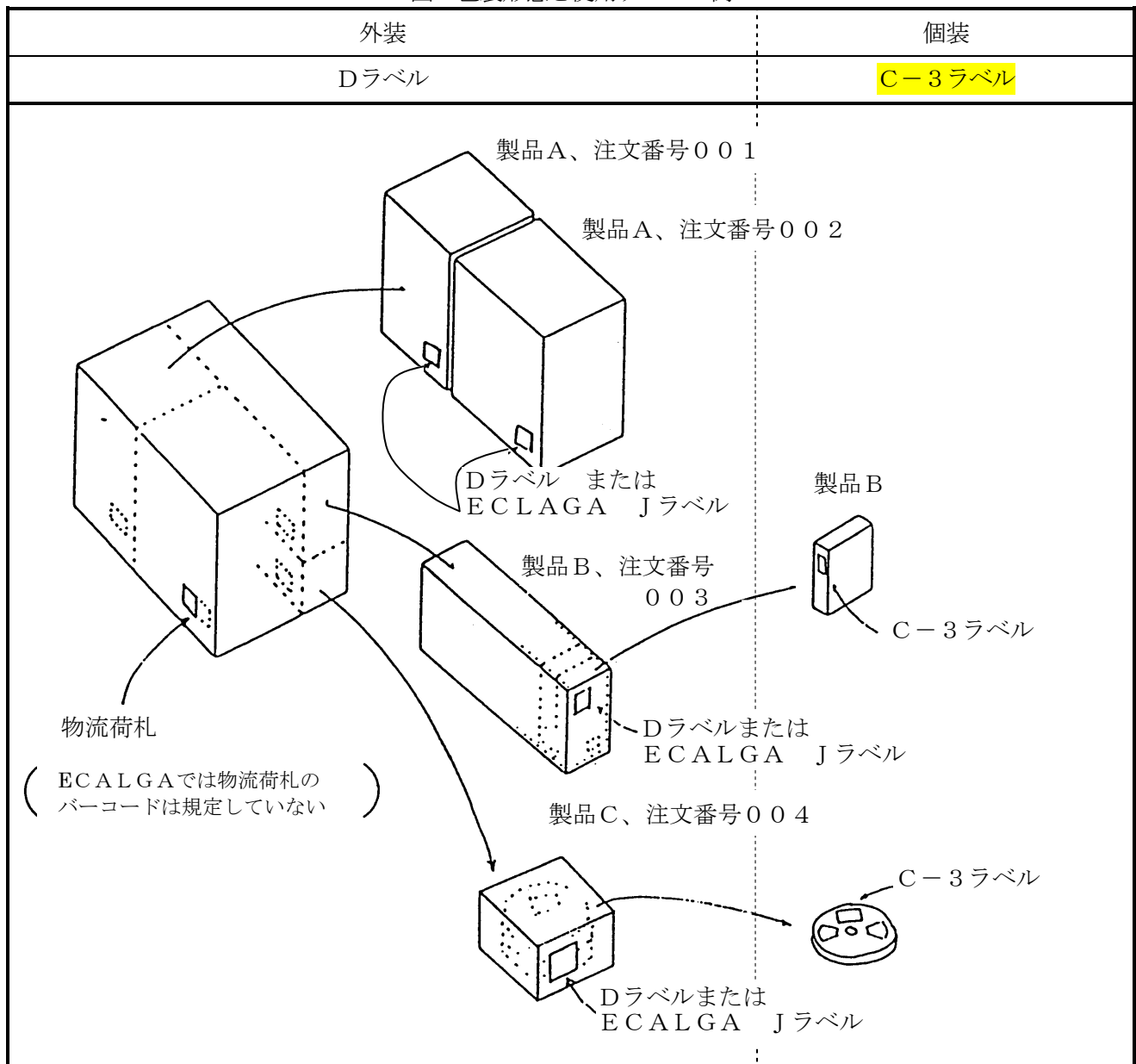
(注) JEITA-VMI 運用時に受注者が倉庫事業者に送付する場合に、ECALGA Jラベルを使用する。



(2) 包装形態と使用ラベルの例

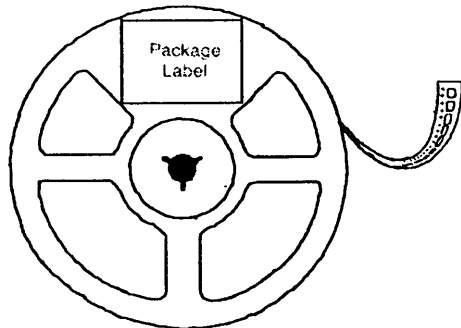
以下のように各様式のラベルを使用する。

図 包装形態と使用ラベルの例

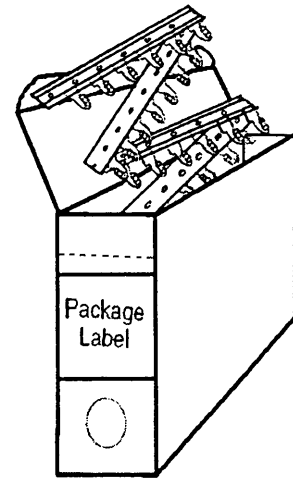


## (3) C-3 ラベルの貼付例

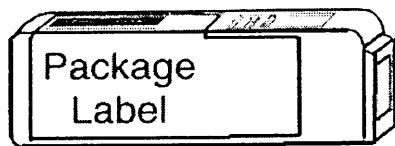
リール



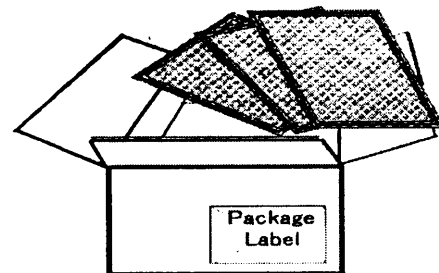
アンモパック



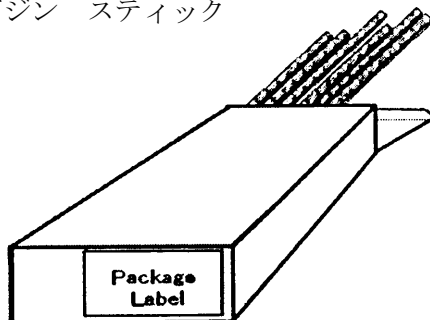
バルクケース



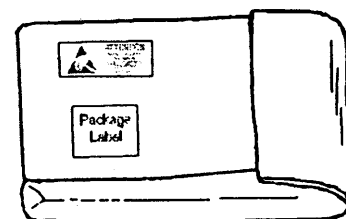
マトリックス トレイ



マガジン スティック



バッグ



薄型ボックス

